

## ◆ 6月号の天気コラム

## ホテル

九州、沖縄や四国地方では、ホテルがみられる時期になってきました。ホテルが生息する場所は、きれいな水辺、日が暮れてしばらくたった夜の8時から9時くらいによく飛びます。風が弱く、湿度も高めの、人間が不快に感じる蒸すような夜を好みます。ホテルをみつけたときはライトをあてたりせず、静かにそっと見守ってあげましょう。 \*『季節と暮らす 365日 (日本気象協会編、アリス館)』より

## ◆ 会報閲覧室 (玉造連盟事務所)

『兵庫労山』2017年5月号・No.448 兵庫県勤労者山岳連盟 / 19頁

毎月、各会から会報や府県連盟ニュースが連盟事務所に届けられています。この会報・ニュースは、いつでも閲覧できるように連盟事務所 (玉造) の会報閲覧コーナーに置いています。いつでも是非ご覧ください。

今回は兵庫県勤労者山岳連盟の機関誌のことを。兵庫県連からも毎月、機関紙 (「兵庫県連」) を送っていただいております。平均20ページのコンパクトな冊子、毎月まづ美しい表紙に引き付けられます。この三か月の表紙の写真は、「中央アルプス宝剣岳千畳」「兵庫県香美町美方高原小代越え」「六甲全山縦走・須磨アルプス」とそれぞれのその月の県連の代表的な山行の様子が一目で飛び込んでくるのがいい。巻頭言 (石筍) も読み応えがあります。4月号では「六甲全山縦走に想う」では、兵庫県出身の加藤文太郎の山行歴を紹介しています。同氏が20歳の時に挑戦した六甲全山縦走を、筆者も新田次郎著『孤高の人』に感銘し20歳過ぎの頃から40回近く挑戦してきたと報告しています。六甲全山縦走・登山教室の行事や各会の山行報告も読んで楽しい。また、里山を中心に上げた裏表紙の「ふるさと兵庫の山あれこれ」も山名 (三草山・有子山) からも引き付けられ、解説も市販のガイドブックよりも丁寧です。だれでもつい登ってみたいくなります。みなさんも一度、『兵庫労山』をご覧ください。

## ◆ 6月、この一冊を 『ここが見所・日本の山』 (小泉武栄・佐藤謙、文一総合出版)

先月号の著書で紹介しました同じ著者 (小泉武栄氏)、人気の列島自然巡りシリーズの1冊です。本書では、日本列島の北から南まで、全部で91もの山が迫力ある写真とともに紹介されています。見開き2頁の半分以上に写真が配置され、地形・地質と植生との対応関係が分かりやすく解説され、他の植物図鑑の類とは一線を画しています。兵庫県北部では氷ノ山、扇の山をとりあげ、西日本では珍しい高層湿原 (古生沼) も地形の形成から理解できそうです。神鍋山は「山陰海岸ジオパーク」のなかでも重要な拠点で、かつての溶岩流跡からいくつもの滝を作り出した景観も今後の山行で確認してみたい地形です。巻末にある豆知識や用語集も、地理の視野を広げていく役割を果たしています。値段 (2,200円) は高めですが、是非山歩きに持っていきたい一冊でもあります。

## ◇編集後記◇

いつも編集後記に何を書けば良いか悩んでしまいます。「編集について、その月の編集について感じたこと」「最近の山歩きについて思うこと」などではと考へ、今回も筆を進めました。労山ニュースも出来るだけ多くの会員の方に気軽に読んでいただける内容の編集を心がけています。例えば先月号から「その他のページ」で連載を始めた「気象コラム」や「ポンポン山雑感」はいかがでしょうか。「気象コラム」は、H. C. teruru の高田和孝さんに一年間、原稿をお願いして始めました。5月号は気温の変動、6月号は天気予報で使われている言葉でした。私たちが日ごろ何気なく使う気象の言葉は、私たちが認識していること以外にも単純なやわらかい意味も知ることができます。今回の「曇り一時雨」と「曇りときどき雨」の違いも、今後の天気予報でも新たな気持ちで解釈していくことができますね。分かりやすく書かれた「気象コラム」、好評で今後も掲載が続きます。「ポンポン山雑感」について来月号でコメントしましょう。

ところで、今年のGWは例年の北アルプスを離れて三瓶山と石見銀山に。三瓶山と石見銀山を訪れたのは今から6年前の3月下旬(2011年)でした。東日本大震災の直後で「いつも東北から大勢来られる観光客がほとんどいないなあ」と石見銀山の土産物店の方が仰っていたのが心に残っていました。当時、残雪多く三瓶山の縦走が出来なかったことと、石見銀山でも限定公開されていた大久保間歩(まぶ、坑道という意味)の予約が取れなかったことで、もう一度どうしても行ってみたい石見地方でした。今回、その悔いと400年前に銀山から銀を港(沖泊)まで運んだという温泉津沖泊道(ゆのつおきどまりみち)を歩いてみたいと決心して決めたのでした。この報告は労山ニュースの来月号で。



雲南市の棚田のこんな風景も 三瓶山直下でヤマドリソウに

\*\*\*\*\*  
今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース(安治川山の会)、やまなかま(泉州労山)、きたろうニュース(きたろうHC)、にしよど(西淀労山)、ぽんぽん山(高槻)、奈良県連ニュース、滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙(鹿児島労山)、兵庫労山会報、県連ニュース(和歌山労山)、明昭(西宮明昭山の会)

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清

\*\*\*\*\*